

令和8年2月25日
厚生労働省政策統括官付参事官付世帯統計室

第11回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の結果の訂正について

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の第11回（令和4年）調査結果の一部に誤りがあったため、数値を訂正しました。

利用者の皆様にはお詫びを申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。



政府統計

報道関係者 各位

令和5年 11月 20日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼 伸至

室長補佐 村田 美智恵

(担当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

第11回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」

の結果を公表します

～平成24年から令和4年(11年間)まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第11回(令和4年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、平成24年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第11回調査では、平成24年度の第1回調査から協力が得られた5,031人を集計対象としており、調査対象者の年齢は30～39歳となっています。

【調査結果のポイント】

1 第1回調査からの夫婦の出生の状況

第1回調査からの夫婦について、この10年間の出生の状況をみると、第1回調査時の子どもをもつ意欲を「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「今後子どもは欲しくない」と答えた者より、出生した割合が高くなっている(4頁 図2)。

2 夫の休日の家事・育児時間と出生状況

子どもが1人以上いる夫婦では、夫の休日の家事・育児時間が長いほど第2子以降の生まれる割合は高くなる傾向がある(5頁 表3、図3)。

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。



政府統計

報道関係者 各位

令和5年 11月 20日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼 伸至

室長補佐 村田 美智恵

(担当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

第11回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」

の結果を公表します

～平成24年から令和4年(11年間)まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第11回(令和4年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、平成24年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第11回調査では、平成24年度の第1回調査から協力が得られた5,044人を集計対象としており、調査対象者の年齢は30～39歳となっています。

【調査結果のポイント】

1 第1回調査からの夫婦の出生の状況

第1回調査からの夫婦について、この10年間の出生の状況をみると、第1回調査時の子どもをもつ意欲を「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「今後子どもは欲しくない」と答えた者より、出生した割合が高くなっている(4頁 図2)。

2 夫の休日の家事・育児時間と出生状況

子どもが1人以上いる夫婦では、夫の休日の家事・育児時間が長いほど第2子以降の生まれる割合は高くなる傾向がある(5頁 表3、図3)。

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。

第11回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

P2「調査の概要：8 結果の集計及び集計客体」

【誤（令和5年11月20日公表）】

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,675人）のうち、第1回調査から第11回調査まで集計可能である5,031人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,821	3,179	2,093
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	188	163	97
女性票	5,228	4,496	2,938
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	82	76	42
計	9,049	7,675	5,031

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

【正】

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,675人）のうち、第1回調査から第11回調査まで集計可能である5,044人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,821	3,179	2,093
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	188	163	97
女性票	5,228	4,496	2,951
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	82	76	45
計	9,049	7,675	5,044

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

P3 「結果の概要：1 結婚の状況」表1

【誤（令和5年11月20日公表）】

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの10年間の結婚の状況を見ると、男36.5%、女53.1%が結婚している。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、「第1回から第11回間に結婚」した者の割合は、男36.5%、女53.1%であり、第11回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男63.5%、女46.9%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの10年間の結婚の状況を見ると、男女とも「結婚意欲あり」と答えた者の方が、「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」と答えた者より、この10年間で結婚した割合が高くなっている（図1）。

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	(単位：%)	
				第1回から 第11回間に 結 婚	結婚して いない
男	100.0	11.7	88.3	32.2	56.1
			(100.0)	(36.5)	(63.5)
20～24歳 (30～34歳)	100.0	2.8	97.2	32.2	65.0
			(100.0)	(33.1)	(66.9)
25～29歳 (35～39歳)	100.0	17.9	82.1	32.3	49.9
			(100.0)	(39.3)	(60.7)
女	100.0	13.9	86.1	45.7	40.4
			(100.0)	(53.1)	(46.9)
20～24歳 (30～34歳)	100.0	3.6	96.4	50.0	46.4
			(100.0)	(51.8)	(48.2)
25～29歳 (35～39歳)	100.0	22.0	78.0	42.3	35.7
			(100.0)	(54.3)	(45.7)

注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

【正】

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの10年間の結婚の状況を見ると、男36.5%、女53.1%が結婚している。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、「第1回から第11回間に結婚」した者の割合は、男36.5%、女53.1%であり、第11回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男63.5%、女46.9%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの10年間の結婚の状況を見ると、男女とも「結婚意欲あり」と答えた者の方が、「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」と答えた者より、この10年間で結婚した割合が高くなっている（図1）。

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	(単位：%)	
				第1回から 第11回間に 結 婚	結婚して いない
男	100.0	11.7	88.3	32.2	56.1
			(100.0)	(36.5)	(63.5)
20～24歳 (30～34歳)	100.0	2.8	97.2	32.2	65.0
			(100.0)	(33.1)	(66.9)
25～29歳 (35～39歳)	100.0	17.9	82.1	32.3	49.9
			(100.0)	(39.3)	(60.7)
女	100.0	14.2	85.8	45.5	40.3
			(100.0)	(53.1)	(46.9)
20～24歳 (30～34歳)	100.0	3.6	96.4	50.0	46.4
			(100.0)	(51.8)	(48.2)
25～29歳 (35～39歳)	100.0	22.5	77.5	42.1	35.5
			(100.0)	(54.3)	(45.7)

注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

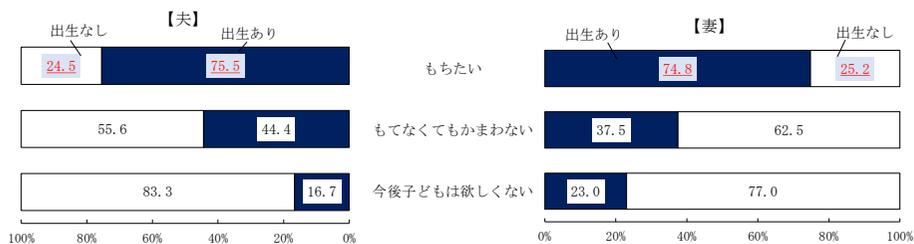
2) 「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

P 4 「結果の概要：2 出生の状況

(1) 希望子ども数と子どもをもつ意欲」図2

【誤（令和5年11月20日公表）】

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況

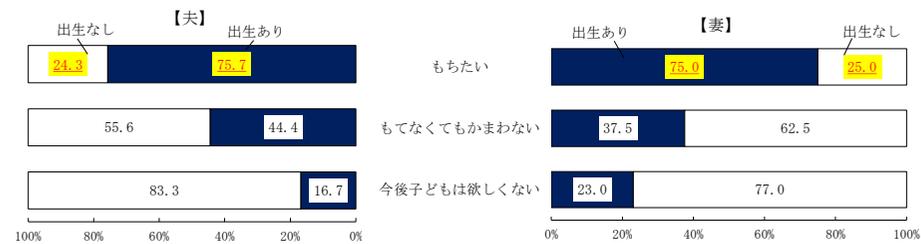


注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 第1回の子どもをもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

【正】

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 第1回の子どもをもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

P5 「結果の概要：2 出生の状況

(2) 夫の休日の家事・育児時間」表3、図3 【誤（令和5年11月20日公表）】

(2) 夫の休日の家事・育児時間

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。

夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この10年間の出生の状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では「家事・育児時間なし」で40.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、平成14年成年者と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

		総数				子どもなしの夫婦		子ども1人以上の夫婦			
		出生あり		出生なし		第1子 出生あり	出生なし	第2子 以降 出生あり		出生なし	
		割合	人数	割合	人数			割合	人数	割合	人数
夫の 育児 時間 別 家事 ・ 育 児 時 間	総数	100.0	100.0	72.5	27.5	100.0	57.0	43.0	100.0	86.2	13.8
	家事・育児時間なし	(3.6)	100.0	59.6	40.4	100.0	63.8	36.2	100.0	40.0	60.0
	2時間未満	(31.8)	100.0	61.4	38.6	100.0	57.8	42.2	100.0	78.0	22.0
	2～4時間未満	(22.9)	100.0	69.5	30.5	100.0	54.8	45.2	100.0	84.5	15.5
	4～6時間未満	(12.5)	100.0	83.0	17.0	100.0	48.6	51.4	100.0	90.3	9.7
	6時間以上	(24.1)	100.0	87.3	12.7	100.0	46.2	53.8	100.0	88.7	11.3

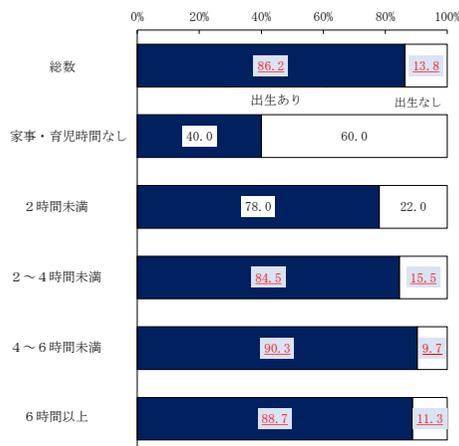
- 注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
5)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

【平成14年成年者】



【平成24年成年者】



- 注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
4)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

【正】

(2) 夫の休日の家事・育児時間

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。

夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この10年間の出生の状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では「家事・育児時間なし」で40.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、平成14年成年者と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

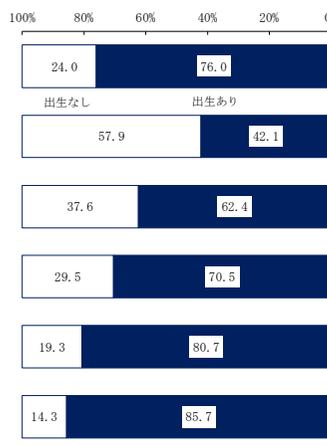
表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

		総数				子どもなしの夫婦		子ども1人以上の夫婦			
		出生あり		出生なし		第1子 出生あり	出生なし	第2子 以降 出生あり		出生なし	
		割合	人数	割合	人数			割合	人数	割合	人数
夫の 育児 時間 別 家事 ・ 育 児 時 間	総数	100.0	100.0	72.7	27.3	100.0	57.0	43.0	100.0	86.4	13.6
	家事・育児時間なし	(3.5)	100.0	59.6	40.4	100.0	63.8	36.2	100.0	40.0	60.0
	2時間未満	(31.6)	100.0	61.4	38.6	100.0	57.8	42.2	100.0	78.0	22.0
	2～4時間未満	(22.8)	100.0	69.6	30.4	100.0	54.8	45.2	100.0	84.6	15.4
	4～6時間未満	(12.6)	100.0	83.3	16.7	100.0	48.6	51.4	100.0	90.5	9.5
	6時間以上	(24.2)	100.0	87.5	12.5	100.0	46.2	53.8	100.0	88.9	11.1

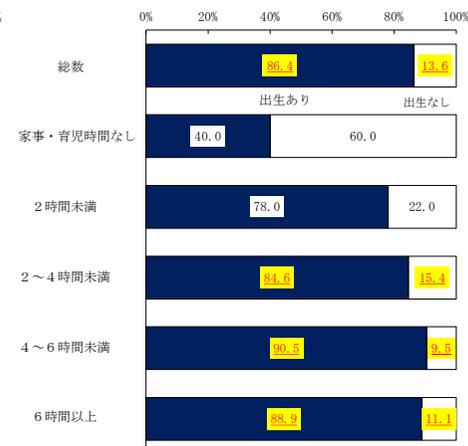
- 注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
5)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

【平成14年成年者】



【平成24年成年者】



- 注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
4)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

P 6 「結果の概要：2 出生の状況（3）子ども観」図4

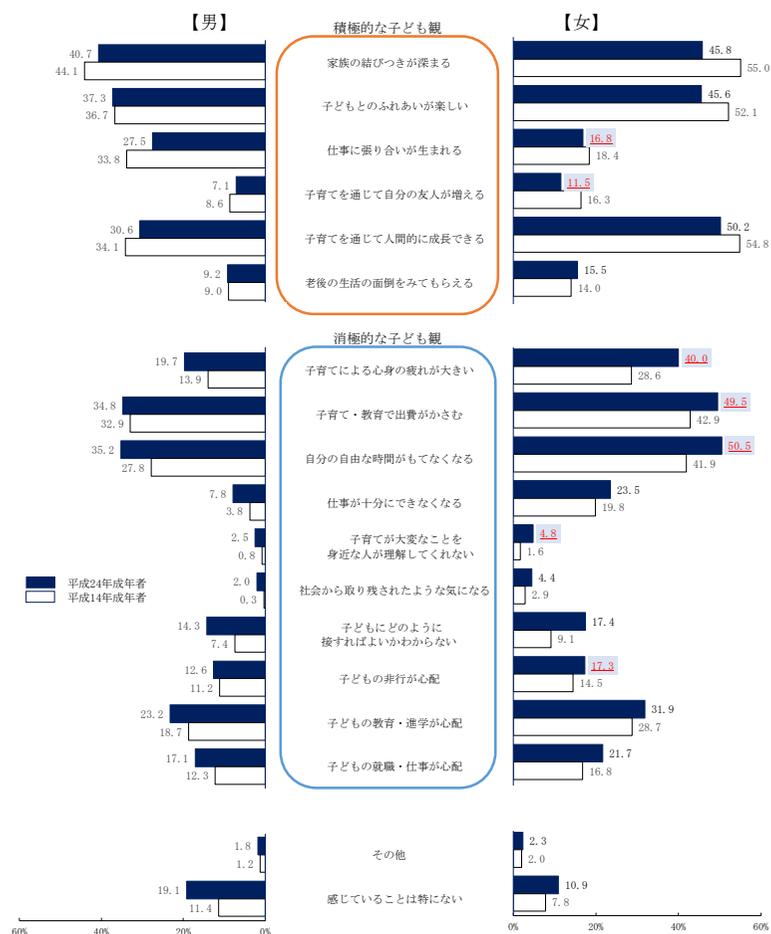
【誤（令和5年11月20日公表）】

（3）子ども観

独身者について子ども観の割合をみると、積極的な子ども観は平成14年成年者の方が高い傾向となり、消極的な子ども観は平成24年成年者の方が高い傾向となっている。

独身者について子ども観の割合をみると、「家族の結びつきが深まる」などの積極的な子ども観は、平成14年成年者の方が高くなる傾向にあり、「子育てによる心身の疲れが大きい」などの消極的な子ども観は、平成24年成年者の方が高くなる傾向となっている。（図4）

図4 独身者の性別にみた子ども観（複数回答）
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

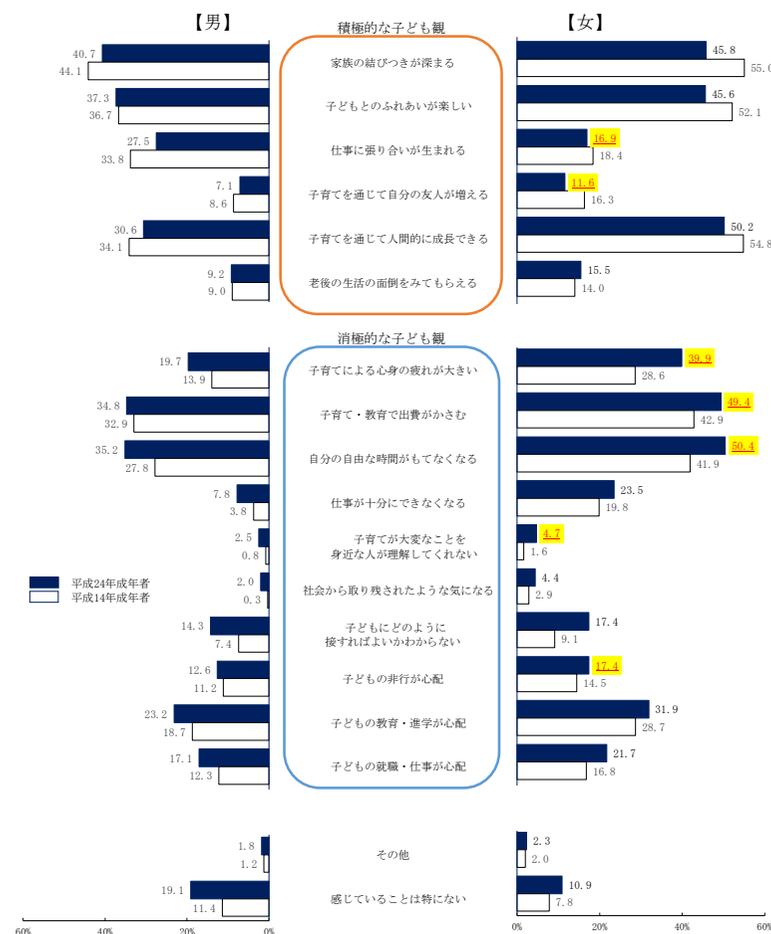
【正】

（3）子ども観

独身者について子ども観の割合をみると、積極的な子ども観は平成14年成年者の方が高い傾向となり、消極的な子ども観は平成24年成年者の方が高い傾向となっている。

独身者について子ども観の割合をみると、「家族の結びつきが深まる」などの積極的な子ども観は、平成14年成年者の方が高くなる傾向にあり、「子育てによる心身の疲れが大きい」などの消極的な子ども観は、平成24年成年者の方が高くなる傾向となっている。（図4）

図4 独身者の性別にみた子ども観（複数回答）
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

P 7 「結果の概要：3 出産前後の就業状況の変化」図5、図6

【誤（令和5年11月20日公表）】

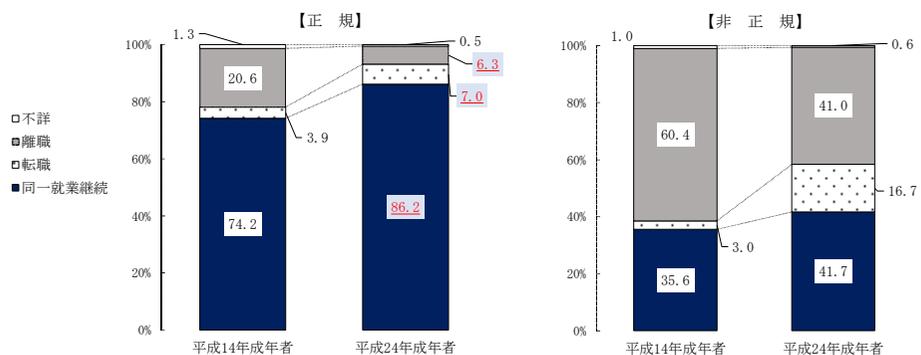
3 出産前後の就業状況の変化

妻の出産後の就業状況を見ると、正規・非正規ともに「離職」の割合が、平成14年成年者と比べ低くなっている。

この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、出産後の就業状況を見ると、正規・非正規ともに「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図5）。

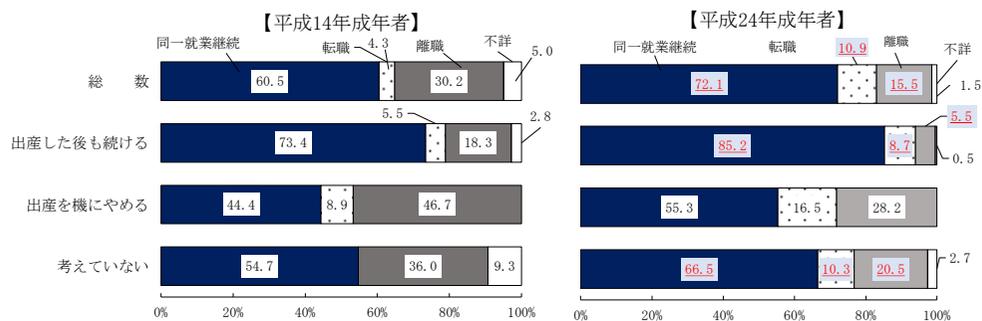
また、第1回の出産後の就業継続意欲別に「出産後の就業状況」の変化を見ると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図6）。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回「出産後の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)総数には、「出産後の就業継続意欲」の不詳を含む。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

【正】

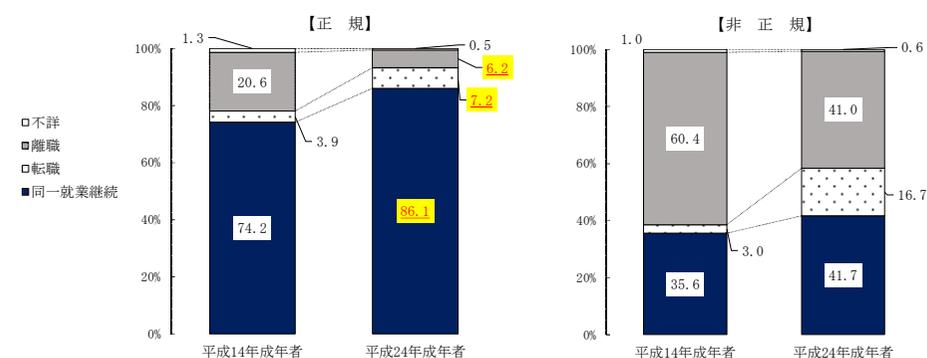
3 出産前後の就業状況の変化

妻の出産後の就業状況を見ると、正規・非正規ともに「離職」の割合が、平成14年成年者と比べ低くなっている。

この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、出産後の就業状況を見ると、正規・非正規ともに「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図5）。

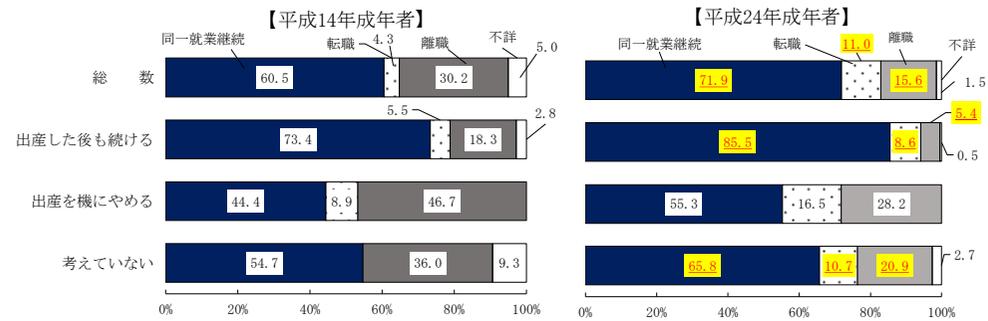
また、第1回の出産後の就業継続意欲別に「出産後の就業状況」の変化を見ると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図6）。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回「出産後の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)総数には、「出産後の就業継続意欲」の不詳を含む。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

P9「参考：2 集計客体数一覧」表1
【誤（令和5年11月20日公表）】

2 集計客体数一覧

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	第1回から 第11回間に	
				結 婚	結 婚して いない
男	1 996	233	1 763	643	1 120
20～24歳 (30～34歳)	821	23	798	264	534
25～29歳 (35～39歳)	1 175	210	965	379	586
女	2 896	403	2 493	1 323	1 170
20～24歳 (30～34歳)	1 273	46	1 227	636	591
25～29歳 (35～39歳)	1 623	357	1 266	687	579

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

【正】

2 集計客体数一覧

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	第1回から 第11回間に	
				結 婚	結 婚して いない
男	1 996	233	1 763	643	1 120
20～24歳 (30～34歳)	821	23	798	264	534
25～29歳 (35～39歳)	1 175	210	965	379	586
女	2 906	413	2 493	1 323	1 170
20～24歳 (30～34歳)	1 273	46	1 227	636	591
25～29歳 (35～39歳)	1 633	367	1 266	687	579

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

P10「参考：2 集計客体数一覧」 図2、表3、図3

【誤（令和5年11月20日公表）】

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：人)

性 第1回の子どものもつ意欲	総数	出生あり	出生なし
夫	231	137	94
もちたい	151	114	37
絶対にもちたい	65	54	11
できればもちたい	86	60	26
もてなくてもかまわない	9	4	5
今後子どもは欲しくない	60	10	50
不詳	11	9	2
妻	231	137	94
もちたい	155	116	39
絶対にもちたい	75	66	9
できればもちたい	80	50	30
もてなくてもかまわない	8	3	5
今後子どもは欲しくない	61	14	47
不詳	7	4	3

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)第1回の子どものもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	総数			子どもなしの夫婦	子ども1人以上の夫婦		子ども1人以上の夫婦	第2子以降		出生なし
	出生あり	出生なし	出生あり		出生なし	出生あり		出生なし		
総数	1,602	1,161	441	754	430	324	848	731	117	
家事・育児時間なし	57	34	23	47	30	17	10	4	6	
2時間未満	510	313	197	419	242	177	91	71	20	
2～4時間未満	367	255	112	186	102	84	181	153	28	
4～6時間未満	200	166	34	35	17	18	165	149	16	
6時間以上	386	337	49	13	6	7	373	331	42	
不詳	82	56	26	54	33	21	28	23	5	

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	平成14年成年者			平成24年成年者		
	出生あり	出生なし	出生なし	出生あり	出生なし	出生なし
総数	699	531	168	848	731	117
家事・育児時間なし	19	8	11	10	4	6
2時間未満	125	78	47	91	71	20
2～4時間未満	129	91	38	181	153	28
4～6時間未満	150	121	29	165	149	16
6時間以上	259	222	37	373	331	42
不詳	17	11	6	28	23	5

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

【正】

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：人)

性 第1回の子どものもつ意欲	総数	出生あり	出生なし
夫	232	138	94
もちたい	152	115	37
絶対にもちたい	66	55	11
できればもちたい	86	60	26
もてなくてもかまわない	9	4	5
今後子どもは欲しくない	60	10	50
不詳	11	9	2
妻	232	138	94
もちたい	156	117	39
絶対にもちたい	76	67	9
できればもちたい	80	50	30
もてなくてもかまわない	8	3	5
今後子どもは欲しくない	61	14	47
不詳	7	4	3

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)第1回の子どものもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	総数			子どもなしの夫婦	子ども1人以上の夫婦		子ども1人以上の夫婦	第2子以降		出生なし
	出生あり	出生なし	出生なし		出生あり	出生なし		出生あり	出生なし	
総数	1,613	1,172	441	754	430	324	859	742	117	
家事・育児時間なし	57	34	23	47	30	17	10	4	6	
2時間未満	510	313	197	419	242	177	91	71	20	
2～4時間未満	368	256	112	186	102	84	182	154	28	
4～6時間未満	204	170	34	35	17	18	169	153	16	
6時間以上	391	342	49	13	6	7	378	336	42	
不詳	83	57	26	54	33	21	29	24	5	

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	平成14年成年者			平成24年成年者		
	出生あり	出生なし	出生なし	出生あり	出生なし	出生なし
総数	699	531	168	859	742	117
家事・育児時間なし	19	8	11	10	4	6
2時間未満	125	78	47	91	71	20
2～4時間未満	129	91	38	182	154	28
4～6時間未満	150	121	29	169	153	16
6時間以上	259	222	37	378	336	42
不詳	17	11	6	29	24	5

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

**P11「参考：2 集計客体数一覧」 図4、図5、図6
【誤（令和5年11月20日公表）】**

図4 独身者の性別にみた子ども観（複数回答）【平成14年成年者・平成24年成年者】

子ども観（複数回答）	男		女	
	平成14年成年者	平成24年成年者	平成14年成年者	平成24年成年者
	(単位：人)			
総数	905	1 175	912	1 284
家族の結びつきが深まる	399	478	502	588
子どもとのふれあいが楽しい	332	438	475	585
仕事に張り合いが生まれる	306	323	168	216
子育てを通じて自分の友人が増える	78	83	149	148
子育てを通じて人間的に成長できる	309	360	500	644
老後の生活の面倒をみてもらえる	81	108	128	199
子育てによる心身の疲れが大きい	126	232	261	513
子育て・教育で出費がかさむ	298	409	391	635
自分の自由な時間がもてなくなる	252	414	382	648
仕事が多すぎてこなせない	34	92	181	302
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	7	29	15	61
社会から取り残されたような気になる	3	24	26	57
子どもにどのように接すればよいかかわからない	67	168	83	224
子どもの非行が心配	101	148	132	222
子どもの教育・進学が心配	169	273	262	409
子どもの就職・仕事に心配	111	201	153	278
その他	11	21	18	30
感じていることは特にない	103	225	71	140
不詳	176	-	44	-

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

	出産後の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
(単位：人)					
平成24年成年者					
正規	384	331	27	24	2
非正規	156	65	26	64	1
平成14年成年者					
正規	155	115	6	32	2
非正規	101	36	3	61	1

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回の「出産後の妻の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

第1回の出産後の就業継続意欲	出産後の妻の就業状況											
	平成14年成年者						平成24年成年者					
	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳
総数	258	167	156	11	78	13	476	395	343	52	74	7
出産した後も続ける	109	86	80	6	20	3	183	172	156	16	10	1
出産を機にやめる	45	24	20	4	21	-	85	61	47	14	24	-
考えていない	75	41	41	-	27	7	185	142	123	19	38	5
続けるかどうか考えていない	178	137	119	18	36	5
今後の出産は考えていない	7	5	4	1	2	-
不詳	29	16	15	1	10	3	23	20	17	3	2	1

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

【正】

図4 独身者の性別にみた子ども観（複数回答）【平成14年成年者・平成24年成年者】

子ども観（複数回答）	男		女	
	平成14年成年者	平成24年成年者	平成14年成年者	平成24年成年者
	(単位：人)			
総数	905	1 175	912	1 285
家族の結びつきが深まる	399	478	502	589
子どもとのふれあいが楽しい	332	438	475	586
仕事に張り合いが生まれる	306	323	168	217
子育てを通じて自分の友人が増える	78	83	149	149
子育てを通じて人間的に成長できる	309	360	500	645
老後の生活の面倒をみてもらえる	81	108	128	199
子育てによる心身の疲れが大きい	126	232	261	513
子育て・教育で出費がかさむ	298	409	391	635
自分の自由な時間がもてなくなる	252	414	382	648
仕事が多すぎてこなせない	34	92	181	302
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	7	29	15	61
社会から取り残されたような気になる	3	24	26	57
子どもにどのように接すればよいかかわからない	67	168	83	224
子どもの非行が心配	101	148	132	223
子どもの教育・進学が心配	169	273	262	410
子どもの就職・仕事に心配	111	201	153	279
その他	11	21	18	30
感じていることは特にない	103	225	71	140
不詳	176	-	44	-

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

	出産後の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
(単位：人)					
平成24年成年者					
正規	389	335	28	24	2
非正規	156	65	26	64	1
平成14年成年者					
正規	155	115	6	32	2
非正規	101	36	3	61	1

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回の「出産後の妻の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

第1回の出産後の就業継続意欲	出産後の妻の就業状況											
	平成14年成年者						平成24年成年者					
	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳
総数	258	167	156	11	78	13	481	399	346	53	75	7
出産した後も続ける	109	86	80	6	20	3	186	175	159	16	10	1
出産を機にやめる	45	24	20	4	21	-	85	61	47	14	24	-
考えていない	75	41	41	-	27	7	187	143	123	20	39	5
続けるかどうか考えていない	180	138	119	19	37	5
今後の出産は考えていない	7	5	4	1	2	-
不詳	29	16	15	1	10	3	23	20	17	3	2	1

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。